

》商工会議所活用レシピ

青年部（YEG）が新規事業拡大の突破口になりました



有限会社
千代野自動車
代表取締役
細川 悟 さん

弊社は一般的なガソリン車を液化石油ガス（LPG）でも走れる「LPGハイブリッド車」に改造する事業を手掛けています。

LPGは、わが国の約半分の家庭でガスコンロなどに利用されているほど、暮らしの中に溶け込んだ燃料です。低公害・低コスト・高出力燃料で、燃料費はガソリンの半額程度。環境対策にも役立つことから、改造費用に対して国から30万円もの助成金が出るのです。

いいことづくめのLPGは、わが国ではタクシーやトラックには広く利用されているものの、自家用車などにはあまり利用されていません。このビジネスチャンスはどうつかめばいいのか。思案する中、突破口となったのが商工会議所青年部（YEG）での活動でした。

YEGでは、次代の地域経済を担う若手経営者・後継者が集まり、セミナーなど諸活動や相互の交流を通じて、企業の発展と豊かな地域経済社会を築こうと日々研鑽（けんざん）しています。

私は白山YEGに所属して活動を続けてきました。そうした中で、YEGの全国組織である日本YEGが主催する第5回「ビジネスプランコンテスト」に応募し、幸いにもグランプリを受賞することができました。

このコンテストは、応募して審査を待つだけではなく、専門のコンサルタントを講師に迎えた研修でプランをブラッシュアップしていきます。自らの経営能力が問われ、プランをいかに第三者に伝えるかプレゼンテーション力も鍛えられました。特に、自分のプラン

が独りよがりではなく、ビジネスとして通用するのか講師はじめ研修生に客観的に評価してもらえたことは、とても参考になりました。

グランプリ受賞後には、白山商工会議所の会頭などを招いた祝賀会を開いてもらい、幅広いネットワークを築くことができました。また、新聞やテレビでも紹介されるようになりました。さらに、LPGハイブリッド車の普及促進に向けた協会を立ち上げる際には、市長や県議会議員、市議会議員にもご協力いただくこととなりました。

本コンテストにより、弊社は高い認知度と信頼性を手に入れることができました。これを契機に、地球にも家計にも優しい企業として、年間1000台の受注獲得を目指してがんばりたいと思います。

担当者からひと言



白山商工会議所（石川県）
経営指導員
藤岡 克宗

細川さんは温厚かつとても魅力的な人です。白山YEGでは、平成17・18年度に会長を務め、会員拡大などに精力的に取り組んでいらっしゃいました。

経営者としては、自動車を柱に多角的に展開していますので、YEGで得た幅広い人脈が本業でも大いに生きているのではないのでしょうか。

当所としても、もちろんこれからも細川さんのご活躍を応援いたします。

余談ですが、細川さんのグランプリ受賞後、「白山」の知名度が上がり、地元では白山ブランドのネクタイをつくるなど、地域全体での活動が活発化し、大いに盛り上がっているんですよ。